

学校だより



笑顔であいさつ

藤沢市立滝の沢中学校

2021. 7. 20

第5号

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 699 番地の 3 TEL 0466-87-9148

<http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/jtaki/>

「不自由を常と思えば、不足なし」～生徒の皆さんへ～

明日から、待ちに待った夏休みですね。昨年度は短い夏休みでしたが、今年度は例年通りです。今までやらなければいけないとわかっていながら、自分に甘えてしまってできなかったことを、少しでも取り組める42日間にしましょう。日数から言えば、夏休みの42日間はこれまでの登校日73日間の半分以上にあたります。有効に使うと自分にとって大きく成長できる期間になるということを忘れないでください。そのためにも「自分はどうなりたいのか？」自分と対話して“なりたい自分”を明確にしましょう！それが道しるべとなり、やる気も変わってくるはずです。しかし、成長過程の皆さんですから、家庭や地域で失敗や過ちをおかしてしまうこともあるでしょう。そんなときは家族や地域の方にしっかりと“叱られ”てください。そして、素直に「ごめんなさい」「すみません」と言える人であって欲しいと思います。9月1日(3年生は8月31日)、42日間で「これだけはできた」という自信をかばんにつめて、笑顔で登校してくれることを大いに期待しています。

さて、夏休みと言えば、7月23日に東京オリンピック、8月24日に東京パラリンピックが開幕します。東京都で緊急事態宣言が発令されている中でオリンピックを開催することには否定的な意見も多くあることは事実です。また、1都3県を含めて、大部分の会場では“無観客”となり、「そんな形でオリンピック・パラリンピックを実施して何の意味があるのか。」「盛り上がるはずがない」「せっかくのオリンピックが台無し」という意見もあります。しかし、そうでしょうか。現在、NHKの大河ドラマで放映されている『青天を衝け』の中で、先日徳川家康の遺訓が紹介されていました。その中に「不自由を常と思えば、不足なし」という台詞がありました。これは「不自由があたり前と思えば、不満を覚えることもない」という意味です。コロナの影響で以前はあたり前であったことの多くが制限されるようになってきている昨今、この言葉は私たちに大切な何かを伝えているように思います。この状況に苦しんでいる我々の多くは、早くコロナ前に戻ることを願っていると思います。私自身もその一人ですが、残念ながらただ期待するだけでは状況は変わりませせん。今、必要なのは現状を踏まえ「感染収束に向けて自分に何ができるか？」を真剣に考えることかもしれません。

「不自由を常と思えば」つまり、現在置かれている状況があたり前と思えば(なかなか難しいですが・・・)「コロナ前はこうだった」という思いから解放されて、現実を受け止めることができるということでしょうか。状況に応じて気持ちを切り替え、前を向いてやるべきことにベストを尽くす。この言葉は、そんなことを教えているような気がします。

そして、オリンピック・パラリンピックの開催については、出場するアスリートには何の責任もありません。むしろ、コロナの影響で1年間の延期となり、目標を見失ってしまいそんな環境の中で必死に自身のモチベーションを保ちながら、懸命にトレーニングを重ねてきた選手です。彼らはきっと「“無観客”だったから、ベストを出し切れなかった。」と言い訳する選手はいないと思います。そうした選手の活躍ぶりは本番でもきっと多くの人を感動させるのではないのでしょうか。私もテレビの前で精一杯の声援を送り、元気と感動をもらえたらと今から楽しみにしています。

【保護者の皆様へ】

いつも本校の教育活動に対するご理解・ご協力、誠にありがとうございます。おかげさまで生徒一人ひとりに成長が見られた73日間となりました。今後も保護者の皆様の力強いご支援をいただければ幸いです。何卒よろしくお願い致します。

さて、明日からは子どもたちが楽しみにしている夏休みとなります。目標に向かって有意義に過ごすことができれば、理想的ですが、そういかないこともあるでしょう。そんなときはただ単に叱るのではなく、小さな努力を認め、自己肯定感を高める声かけも効果的であると思われます。そのためにも家庭での役割を与え、責任を持たせることも重要ではないでしょうか。また、お子様が自分と向き合う機会を意図的につくることも親ができることかもしれません。

“2年ぶりの大会”ではなく、“2年分の思い”を込めて

6月26日スタートした市総合体育大会も7月17日で全日程が終了しました。運動部の生徒にとっては事実上引退前の最後の大会。私も短い時間でしたが、各会場を回り、子どもたちの勇姿を観ることができました。試合に勝って最高の笑顔を見せる選手。負けて悔し涙を流す選手。昨年度はコロナ禍のため、この大会が実施できませんでした。結果はそれぞれでしたが、“2年ぶりの大会”ではなく、“2年分の思い”を込めて全力でプレーする姿はとても感動的でした。目標に向かって努力した経験は必ず子どもたちにとって何物にも代え難い貴重な財産となると信じています。また、感謝の気持ちを忘れず、試合会場での挨拶やマナーもしっかりできている選手が多かったことも、うれしく思いました。今後、湘南ブロック大会に出場する部活の活躍を大いに期待したいと思います。大会結果は次のとおりです。

- 野球部：1回戦惜敗 ○サッカー部：2回戦惜敗 ○ソフトボール部：優勝
○ソフトテニス部：男子団体準優勝、女子団体ベスト8
○剣道部：男子団体3位、女子団体予選リーグ惜敗
○バスケ部：男子3位、女子優勝 ○バレー部：男子3位、女子3位
○バドミントン部：男子団体ベスト8、女子団体ベスト8 ダブルス準優勝 シングルス3位
○卓球部：男子団体ベスト8、女子男子団体ベスト8



文化部発表会と合唱祭について

前期期末試験、3年生の修学旅行が終わると、行事としては9月22日（水）に文化部発表会、10月13日（水）に合唱祭が予定されています。文化部発表会については、後日プリントでお知らせいたしますが、体育館で発表する文化部の3年保護者（各家庭1名）の皆様にはお子様の部活の発表時のみ参観を可とする予定です。合唱祭については、例年通り市民会館で実施するか、それとも昨年度のように本校の体育館で発表し、オンラインで教室にて鑑賞する形態をとるのかなど、今後の新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら検討していきたいと考えております。夏休み以降には決定した内容を皆様にお伝えすることができると幸いです。

標準服リユースについて

先日、すでにプリントでもお知らせしましたが、「標準服リユース」を8月25日（水）10時30分から12時に南棟1階26組教室で行います。そのために「けやきの会」の本部役員の方たちがご多用の中、来校され、丁寧に準備していただいています。心より感謝いたします。なお、売上金はすべて寄付金として扱われ、生徒の学校生活の充実のために役立てられます。